



岐阜市

議会だより

第72号

令和4年
1月27日発行



聖母宮（勝本町）

本殿・西門・南門は長崎県有形文化財に指定されている。建築年代が18世紀まで遡る本殿は、県内において最古の部類に属する貴重な建造物であり、本殿の両側面には虎が描かれている。 ※特別な許可を得て近くで撮影しています。

【主な内容】

11～12月会議で決めたこと… 2	一般質問（8人が登壇） ……10
令和3年度補正予算 …… 3	市民の声 ……15
委員会レポート …… 4	議会だよりクイズ ……16



11～12月会議で決めたこと

11～12月会議で決まった主な事業を紹介します。

◆吉崎市営乗合タクシー運行に関する条例の制定について

公共交通空白地域等における、地域住民等の移動に必要な旅客輸送を確保するため、道路運送法第79条に規定される自家用有償旅客運送の登録を受け、市営乗合タクシーの運行を開始することに伴い、条例を制定する。



初山地区にてコミュニティバスが運行開始



ミル

◆吉崎市安全で安心な海水浴場の確保に関する条例の制定について

安全で安心な海水浴場の確保に対する意識の醸成、取組を行い、全ての方にとって安全で安心な海水浴場を維持するために定める。

◆公の施設の指定管理者の指定について

市が所管する各施設の管理・運営について委託する。指定期間は、令和4年4月1日～令和7年3月31日までとする。

○吉崎市地域福祉活動拠点施設

指定管理者：社会福祉法人 吉崎市社会福祉協議会 会長 末永 榮幸

○へい死獣畜一時保管処理施設

指定管理者：吉崎市農業協同組合 代表理事組合長 川崎 裕司

○イルカパーク

指定管理者：IKI PARK MANAGEMENT株式会社 代表取締役 高田 佳岳

○勝本総合運動公園

指定管理者：吉岐カントリー倶楽部 代表取締役 山崎 明秀

審議結果をP8の「議案と審議結果一覧表」に示しています。

令和3年度 補正予算

一般会計の11～12月補正予算額計	5億4,385万2千円
特別会計の11～12月補正予算額計	3,044万5千円
一般会計+特別会計補正後の予算額合計	323億8,086万8千円

○令和3年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	現計予算額	11月補正予算額	11/30専決補正予算額	12月補正予算額	補正後予算額合計
一般会計	23,305,261	89,124	231,366	223,362	23,849,113
特別会計					
国民健康保険	3,822,717			21,061	3,843,778
後期高齢者医療	364,527				364,527
介護保険	3,753,705			5,000	3,758,705
下水道	337,046			2,601	339,647
三島航路	113,829			1,783	115,612
農業機械銀行	109,486				109,486
合計	8,501,310			30,445	8,531,755
一般会計・特別会計の合計	31,806,571	89,124	231,366	253,807	32,380,868

どんな予算のあと?



新型コロナウイルス感染症対応事業費 5,500万円 増額

市内の消費喚起を促し、かつ国が掲げる「2025年までにキャッシュレス化40%」の取組に呼応するため、キャッシュレス消費喚起対策事業を実施する。

令和4年1月末まで使用できるプレミアム商品券事業に続いて2月に実施することで、切れ目ない経済対策事業の実施により、新型コロナウイルスの影響で甚大な被害を受けた市内経済の復興を目指す。

●事業内容

市内加盟店においてPayPayを活用して支払った場合、1回の会計で上限3千円、期間中1人最大1万円分のポイントを還元するための費用を予算化する。

- ①還元率：最大20%
- ②実施予定期間：令和4年2月1日～28日
- ③市内加盟店数：444店舗（10/30時点）

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 3,412万4千円 増額

新型コロナウイルスワクチン接種において3回目の追加接種が決定したことにより、3回目接種に向けた体制確保並びに接種準備を図り、苓岐医師会協力のもと円滑な接種を実施する。

●事業内容

- ①実施期間：【全体】令和3年12月中旬～令和4年8月予定
→うち令和4年3月実施予定分までの予算を計上
- ②対象者：2回目接種を終えた全ての希望者
(2回目接種完了から概ね8か月以上経過後)
- ③対象予定者数：【全体】20,808人（令和3年10月末時点）
→うち8,518人（令和4年3月実施予定分までの予算を計上）

子育て世帯等臨時特別支援事業 総額4億5,873万3千円 新規

新型コロナウイルス感染症が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、子どもたちを力強く支援しその未来を拓く観点から、臨時特別の給付金を支給することにより子育て世帯に対する適切な配慮を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する。

0歳から高校3年生までの子どもに対し1人当たり10万円を支給する。

11月専決補正予算 2億3,136万6千円

12月追加補正予算 2億2,736万7千円

※当初、国の方針に従い先行給付金を5万円、残りの5万円はクーポン券を活用した給付を行う予定で先行給付金分を11月に専決補正を行った。しかし、その後国において審議がされ、残りの5万円についても現金給付が選択できるようになったことから、12月に追加補正を行った。

●事業内容

先行給付5万円に加え、残りの5万円についても現金給付として速やかに支給する。

- ・事業費 4億5,400万円（4,540人×10万円）
- ・事務費 473万3千円

支給対象：平成15年4月2日～令和4年3月31日生まれの児童

（注意）高校生であっても生年月日がこの範囲でない者、また生年月日がこの範囲でも結婚している児童は支給対象にはならない。

支給方法：①児童手当受給世帯に対しては児童手当の仕組みを活用することで申請不要とし、プッシュ型支給で年内に支給する。

- ・先行給付金5万円（12月17日支給済み）
- ・追加給付金5万円（12月28日支給済み）

②その他の世帯（高校生のみ世帯等）については、対象者からの申請等により速やかに支給する。

- ・一括給付10万円（1月以降支給予定）



委員会レポート



総務文教厚生常任委員会

12月会議で付託された8議案については全て可決、要請1件については採択とした。
また、9月会議で付託され、継続審査としていた要望1件については不採択とした。

【委員会意見】

要望第1号：ゼロ・ウェイスト宣言の要望について

持続可能な社会の実現に向けた循環型社会の構築、とりわけ、廃棄物の適切な処理とすることにより二酸化炭素の排出を抑制するという点で、本要望と沓崎市が実施中である施策との方向性は一致するものである。

但し、ゼロ・ウェイストとは、ごみをゼロにすることが本来の意味であり、宣言により日々の生活に直接影響を受ける市民からは、理解を得難い。一方、ごみの排出抑制という点では、令和元年度に沓崎市が出している気候非常事態宣言の中に、具体的な取組をうたっており、更に別の宣言をする必要性は低い。以上により本要望は不採択とした。

なお、沓崎市はごみのリサイクル率で長崎県内トップであるとはいえ、気候非常事態宣言後の取組の中において、ごみ減量化の目標実現に向けた市民への啓発活動や、ごみ処理数量実績での、明確な成果を見いだすことは難しい。

ごみの減量化は市民に少なからずの負担を強いるものである。このため、内容を分かりやすく啓発することが大切であり、そのことが継続につながり結果的に成果が出るものであると考えられる。このような観点からの市の積極的な取組を期待し、議会においても効果的な方策の検討を続けていくものとする。



産業建設常任委員会

12月会議で付託された9議案については、全て可決した。

【所管事務調査】

合併浄化槽の処理対象人員の算定方法で、JISにおける処理対象人員算定基準の「ただし書き」の取り扱いを明確化し、130㎡を超える専用住宅であっても、要件及び条件を満たせば「5人」と算定できるようにすることとなり、令和2年4月1日から適用されているが、沓崎市民への周知徹底ができていない。許認可権限が沓崎市においては沓岐保健所であり、沓崎市単独での広報が難しいと思われる。沓崎市としては沓岐保健所と早急に協議し、沓崎市民への周知徹底を図ること。



予算特別委員会

12月会議で付託された令和3年度壱岐市一般会計補正予算（第11号）については可決した。

主な質問と答弁

Q 放課後児童クラブ及び地域子育て支援拠点施設におけるICT化とは。

A 新型コロナウイルス感染症対策の1つとしてICカード、QRコード、タッチパネルなどで利用児童の入退室の管理に加え、保護者にリアルタイムで通知するシステムやオンライン会議などに必要なICT機器の導入などの環境整備を行う。補助上限は、50万円。

Q マイナンバーカードを使用したマイナポータルの個人情報の漏洩の危険性はないか。

A ・国においてマイナンバーカード搭載の電子証明書により情報を暗号化し、通信の正当性を認証することで高水準のセキュリティを確保するなどの対策があるので心配ない。現マイナポータルはすでに児童手当の電子申請、乳幼児健診、妊婦健診の結果や特定健診や後期高齢者健診結果の閲覧が可能。今回、健康増進法に基づく健診結果を追加する。
・国としても漏洩のリスクに対する備えとして制度面での罰則強化や個人情報保護委員会による監視が行われており、システム面でも分散管理の実施やアクセス制御、通信の暗号化、マイナンバーを直接用いない方法での情報連携を実施するなどのセキュリティ策はとられている。

Q 自然公園等業務委託及び公衆トイレの清掃業務の業務箇所数と島内外事業者の入札参加数は。

A 次の表のとおり（各々7件すべてが島内事業者の団体）

（自然公園等業務委託）

No.	清掃管理業務名	箇所数	入札参加資格数	入札参加数
1	郷ノ浦・勝本地区観光地	13	14	6
2	石田地区観光地	6	14	5
3	芦辺地区観光地	9	随意契約1社	
4	小牧崎公園	1	随意契約1社	
5	里浜海水浴場	1	随意契約1社	
6	少式公園等	1	随意契約1社	
7	池田憩いの広場	1	随意契約1社	
合計		32		

（公衆トイレ清掃業務委託）

No.	清掃管理業務名	箇所数	入札参加資格数	入札参加数
1	郷ノ浦地区公衆トイレ	15	11	4
2	石田地区公衆トイレ	10	11	4
3	芦辺地区公衆トイレ	9	随意契約1社	
4	昭和橋公衆トイレ	1	随意契約1社	
5	蔵谷・城山公衆トイレ	1	随意契約1社	
6	串山公衆トイレ	1	随意契約1社	
7	湯ノ山公衆トイレ	1	随意契約1社	
合計		38		

Q 郷ノ浦港ターミナルビル改修内容と今後の計画は。

A 郷ノ浦港ターミナルビルボーディングブリッジの老朽化がひどく、整備後約25年経過しており、全体的な補修対応のため調査設計業務の工期を3月まで延長し、その後に改修工事を発注する予定。その他の多言語対応、Wi-Fi、トイレの洋式化等の整備は設計業務が完了し、1月中旬には工事を発注予定。

また、ジェットfoil用浮桟橋整備は、県による測量設計等順調に進捗中。駐車場再編整備は、まだ交渉中だが、今後計画に沿った形で進めていく。

Q 新大久保団地新築工事の取り止めの理由は。

A 昨今のウッドショック（木材単価の高騰）の影響により、新築工事2棟分の事業費、設計予定額の約16%、700万円の増額の見込み。また、建築工事費の増額は入居者の家賃に反映されることから今年度は休止とし、来年度へ延期する。来年度も木材及びその他資材価格の状況を注視しながら総合的に判断して事業の再開を決定する。

決算特別委員会

9月会議で付託され、継続審査としていた令和2年度吉岐市一般会計歳入歳出決算認定については可決した。

【委員会意見】

本議案は、9月会議において質疑まで終了し、決算の細部については、各常任委員会の所管事務調査の中で審議を行った。

なお、指定管理者が管理する市有施設の運営状況等については、その透明性をより高めるため、議会への情報提供を更に図られたい。

■令和2年度決算額

(単位：千円)

区 分		歳入総額	歳出総額	差引額	翌年に繰越すべき額	実質収支額
一般会計		26,953,399	26,284,917	668,482	223,190	445,292
特別会計	国民健康保険事業	3,650,562	3,636,858	13,704	0	13,704
	後期高齢者医療事業	355,502	351,807	3,695	0	3,695
	介護保険事業	3,664,907	3,549,666	115,241	0	115,241
	下水道事業	289,335	277,956	11,379	11,356	23
	三島航路事業	109,794	109,794	0	0	0
	農業機械銀行	126,009	118,755	7,254	0	7,254
	特別会計の合計	8,196,109	8,044,836	151,273	11,356	139,917
一般会計・特別会計の合計		35,149,508	34,329,753	819,755	234,546	585,209

■令和2年度未収金一覧

(単位：千円)

未収金内訳	令和2年度	令和元年度	増減額
市税	161,246	200,796	△ 39,550
分担金・負担金	4,993	8,045	△ 3,052
使用料・手数料	35,214	38,270	△ 3,056
国庫支出金	449,481	—	449,481
県支出金	215,780	—	215,780
財産収入	901	2,272	△ 1,371
諸収入	27,444	47,458	△ 20,014
国民健康保険税(返納金含む)	178,746	237,030	△ 58,284
後期高齢者医療保険料	3,585	4,560	△ 975
介護保険料	40,690	46,284	△ 5,594
下水道使用料	2,120	2,477	△ 357
農業機械銀行使用料	235	156	79
合 計	1,120,435	587,348	533,087



意見書を提出しました

離島振興法の改正・延長を求める意見書

離島においては、昭和28年に離島振興法が制定されて以来、離島振興政策が推進され、生活条件の改善、産業基盤の整備等を中心とする社会資本の形成が大きく進展した。

離島は、我が国の領域、排他的経済水域等の保全、海洋資源の利用、多様な文化の継承、自然環境の保全とあわせて、自然との触れ合いの場及び機会の提供、食料の安定的な供給等、我が国及び国民の利益の保護及び増進に重要な役割を担っている。

しかしながら、離島においては、厳しい自然的・社会的条件の下、人の往来、生活に必要な物資等の輸送に要する費用が他の地域に比較して多額であることのほか、医療提供体制や産業基盤、生活環境等が脆弱といった本土との地域格差は、引き続き対応すべき課題である。また、人口減少や高齢化が進展するとともに、基幹産業である一次産業の停滞など、離島をめぐる状況は依然として厳しく、一層強力に離島振興政策を推進していく必要がある。

よって、国においては、現行の離島振興法が令和4年度末をもって失効することから、抜本改正の上、恒久法化も視野に入れて延長されるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月23日

長崎県壱岐市議会議長 豊坂 敏文

《提出先》

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、内閣官房長官

議会改革特別委員会が設置されました

12月会議最終日に、議員発議により「議会改革特別委員会」が設置されました。

今後、議員報酬及び定数、会派制の導入、役職の任期など壱岐市議会の改革に関する調査を行います。

委員長 土谷 勇二
副委員長 森 俊介
委員 鵜瀬 和博
赤木 貴尚
植村 圭司
中原 正博
武原由里子



議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果
11月	認定第2号	令和2年度吉崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	11/17 認定
	認定第3号	令和2年度吉崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	11/17 認定
	認定第4号	令和2年度吉崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	総務文教厚生	11/17 認定
	議案第60号	令和3年度吉崎市一般会計補正予算（第9号）	省略	11/17 可決
	議案第61号	吉崎市乗合タクシー運行に関する条例の制定について	省略	11/17 可決
12月	報告第16号	令和3年度吉崎市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の報告について	—	12/13 報告済
	議案第62号	行政手続における押印見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総務文教厚生	12/23 可決
	議案第63号	吉崎市長の調査等の対象となる法人を定める条例の一部改正について	産業建設	12/23 可決
	議案第64号	吉崎市税条例の一部改正について	総務文教厚生	12/23 可決
	議案第65号	吉崎市国民健康保険条例の一部改正について	総務文教厚生	12/23 可決
	議案第66号	吉崎市堆肥センター条例の一部改正について	産業建設	12/23 可決
	議案第67号	吉崎市農業機械銀行条例の一部改正について	産業建設	12/23 可決
	議案第68号	吉崎市安全で安心な海水浴場の確保に関する条例の制定について	産業建設	12/23 可決
	議案第69号	吉崎市国民宿舎条例の一部改正について	産業建設	12/23 可決
	議案第70号	公の施設の指定管理者の指定について（吉崎市地域福祉活動拠点施設）	総務文教厚生	12/23 可決
	議案第71号	公の施設の指定管理者の指定について（へい死獣畜一時保管処理施設）	産業建設	12/23 可決
	議案第72号	公の施設の指定管理者の指定について（イルカパーク）	産業建設	12/23 可決
	議案第73号	公の施設の指定管理者の指定について（勝本総合運動公園）	産業建設	12/23 可決
	議案第74号	令和3年度吉崎市一般会計補正予算（第11号）	予算特別	12/23 可決
	議案第75号	令和3年度吉崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	12/23 可決
	議案第76号	令和3年度吉崎市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	12/23 可決
	議案第77号	令和3年度吉崎市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	12/23 可決
	議案第78号	令和3年度吉崎市三島航路事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	12/23 可決
	議案第79号	損害賠償の額の決定について	総務文教厚生	12/23 可決
	認定第1号	令和2年度吉崎市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	12/23 認定
	要望第1号	ゼロ・ウェイスト宣言の要望	総務文教厚生	12/23 不採択
	要請第2号	離島振興法の改正・延長を求める意見書の提出について	総務文教厚生	12/23 採択
	発議第6号	離島振興法の改正・延長を求める意見書の提出について	省略	12/23 可決
	発議第7号	議会改革特別委員会の設置に関する議決について	省略	12/23 可決
	議案第80号	令和3年度吉崎市一般会計補正予算（第12号）	省略	12/23 可決

●賛否（賛成、反対）のあった議案

○…賛成 ×…反対

議 案 名 番 号	森	樋	武	山	中	山	植	清	赤	音	小	鵜	中	市	土	賛	反	結
	俊	口	原	口	原	川	村	水	木	嶋	金	瀬	田	山	谷	成	対	果
	介	久	由	欽	正	忠	圭	修	尚	吾	明	和	恭	繁	二			
認定第1号 令和2年度吉崎市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	認定
認定第2号 令和2年度吉崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	認定
認定第3号 令和2年度吉崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	認定
認定第4号 令和2年度吉崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	13	2	認定
議案第60号 令和3年度吉崎市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	13	2	可決
議案第72号 公の施設の指定管理者の指定について（イルカパーク）	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	11	4	可決
議案第74号 令和3年度吉崎市一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	可決
要望第1号 ゼロ・ウェイスト宣言の要望	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1	14	不採択

豊坂敏文議員は議長のため採決には入りません。

認定第1号 <反対討論>

新型コロナ感染拡大のために市民の生活に多大な影響が出た中で、様々な政策があったが予算の無駄遣いが目立つ。1つ目はイルカパークに関わる壱岐島リブートプロジェクト。2つ目は壱岐みらい創りサイトや壱岐なみらい研究所など地域創生、新たな産業創出など同じような内容が他にも数多くあること。3つ目は壱岐市の取り組んでいる再生エネルギーの政策が場当たりのため問題が多いことである。地方自治体の役割は市民の福祉向上のためにあり、誰一人取り残さないしっかりとした覚悟を持った施策が必要であるが、その覚悟が予算に見られない。市民の暮らしをしっかりと支え、安心して暮らせる壱岐市を実現する施策を求める。

認定第2号 <反対討論>

国保税が高く、生活を切り詰め国保税を支払うが、なかなか病院へ行けないという受診控えにつながっている。格差と貧困が社会問題になる中、市民の暮らしと命、健康を守るという国保制度の本来の役割を果たすためにも、高すぎる国保税の引き下げは急務。市の一般会計からの繰り入れをしっかりと行い、国保税の軽減に向けた努力を進めることが必要であり、積極的な減免制度や福祉政策の推進を市に求める。

認定第3号 <反対討論>

負担の限度を超える高い保険料により、生活への影響の拡大、受診控えが一層進むことになる。市として、国県への働きかけと市独自の支援の取組を強く求める。

認定第4号 <反対討論>

介護保険制度ができてから保険料の引き上げが続いており、年金生活者の生活の困窮化を広げることになっている。市民の安心して暮らせる老後を保証するためにも市の支援が必要であり、国保税と同様、国庫負担の引き上げを国に求め、市の一般会計からの繰り入れを進め、市独自の軽減策を講じること。また市として国県への働きかけを強め、市独自の支援策を強く求める。

議案第72号 <反対討論>

○イルカパーク再生事業にかかる経費は平成30年度から令和3年度まで、合計約2億9,400万円の税金が投入されている一方、市民の福祉向上のための予算が大幅にカットされた。市民の生活は厳しい中、これまでのイルカパークの多額の税金投入による費用対効果の検証も全くなされていない。

令和4年度からの指定管理料は年間で800万円。これはイルカの生命維持の為の費用のみであり、経費を安くするために人件費を削り、低賃金でのスタッフ配置は専門性や安全性が怠りサービスが低下する可能性もある。

現段階では令和3年度末の経営状況やスタッフ体制に不安があり今後3年間、指定管理料のみで指定できる状況ではないと判断した。3月議会までの再上程を望む。

○令和4年からのIKI PARK MANAGEMENT株式会社があげている収支計画の中で、旅費交通費支払手数料が令和2年度と比べて10分の1以下になっている。今までの10分の1以下でやっていけるのかと質問したが、それに答えられておらず、令和4年以降の収支計画の妥当性を判断することができない。

IKI PARK MANAGEMENT株式会社の代表のSNSで「お金がない。年度末までに1,000万ほどサポートして欲しい」という趣旨の投稿があった。現在提出されている資料では支出の状況、またお金がどれくらい会社にあるのかということが全く分からず、安心して経営を委託できるのかどうか判断できない。

IKI PARK MANAGEMENT株式会社の本社所在地の土地・建物が10月12日から12月21日まで差し押さえになっていた。この時の債権者は壱岐市である。壱岐市が本社所在地を差し押さえしている会社に対して指定管理を委託するという指定管理業者の選定には大きな問題がある。



一般質問

8人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問議員自らが、原稿執筆したものです。



音嶋 正吾 議員

質問 沓岐市の潜在力を磨くことがSDGs

答 強力にサポートしたい

音嶋 愛郷教育の醸成を家庭、教育の現場で推進すべき。

教育長 市内事業所体験学習、また市内の環境を語り合う取組の機会を持ち、沓岐に住み続けたい心の教育に努めたい。

音嶋 本市にとって持続可能な農水産業の振興を強力に推進すべき。

農林水産部長 UIターン者対象として、平成29年から県と連携して担い手サポートセンターを設立して取り組んでいる。

音嶋 専業農家、生産法人の支援のみならず、兼業農家の支援体制拡充を関係機関に要望すべき。

農林水産部長 本市7割が兼業農家。兼業農家の事業拡大支援にJA及び県と協力して推進に努める。

一般質問の音声を聞くことができます

右のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を視聴できます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によって異なります。

※ダウンロードすると通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。





樋口 伊久磨 議員

質問 市内小中学校の給食費の無償化について

答 財源捻出を検討

樋口 子供を産み育て易い環境を整え、子育て日本一の島を目指すために市内小中学校の給食費の無償化は。

教育長 全国で小中学校の無償化をしているところが76自治体、小学校のみ無償化が4自治体、中学校のみが2自治体ある。人口が3～7万人の自治体で無償化に踏み切っている自治体は5自治体である。無償化の政策が広がっていかない理由は、純然たる、食材については保護者負担が適切だろうとの考え方が多くを占めている事と、市の財源の捻出の2点。給食費を無償化することは大きなアピールになると思うが伴うのは財源。現在吉野市は財政基盤確立計画の策定に向けて取り組んでいる状況の中で、年額約1億1200万を市費で賄う取組は毎年この財源が必要。無償化の在り方に

についても色々な形態があるようなので、教育委員会としても検討を進めて行く。

洋上風力発電について

樋口 洋上風力発電のアンケート結果の検証と今後のスケジュールは。

総務部長 アンケートは市の脱炭素の取組、洋上風力発電に関する理解を図ると共に洋上風力発電に対する地域住民の意見や要望等を把握し、今後の導入可能性検討の基礎資料とする事を目的に実施。結果を顧みて、総じて市の再生可能エネルギーや洋上風力発電に関する取組についての情報発信が不十分であったと受け止める。今後は市民皆様を対象とした説明会や意見交換を通してあらゆる利害関係者と丁寧な対話を重ねながら、導入の可能性を見定める。洋上風力発電の導入は息の長い事業であり建設までに10年程度の期間を要すると想定している。拙速な取組ではなく、真に吉野市にとって利益であるかどうかを市民の皆様とともに見極めながら、御理解を得て参りたいと考えている。



武原 由里子 議員

質問 吉野市の戦略的広報の取組について

答 各広報媒体を使い、住民ニーズに沿った情報発信をする

武原 吉野市の広報の現状と課題は。

総務部長 広報媒体として広報いき・回覧板及び各戸配布・報道機関への投げ込み・ケーブルTV・ホームページ・スマートニュース・SNS等があるが、市からの一方的な発信になっている。

武原 市民に必要な情報を効果的に届けるには。

総務部長 吉野市デジタル化推進本部を立ち上げ、吉野市LINE公式アカウントの活用で、双方向でのやり取りが可能。

武原 デジタル機器の使用が難しい高齢者や障がい者などの情報格差の解消が必要。情報活用支援員の育成や訪問支援員の派遣の整備。人に優しいデジタル化を。

総務部長 広報紙や回覧・各戸配布などアナログな広報も並行して実施。

武原 広報は広聴から始まる。市民と行政の信頼関係を築くことが必要。地域情報化計画の策定や市民を巻き込んだ全員広報を。

附属機関等の公募・女性委員の登用について

武原 吉野市自治基本条例第18条では、「委員を選任するときは、原則としてその全部又は一部を市民の公募等により行い、市民の多様な意見を反映しなければならない。」とあるが、現在は2委員会しかない。

市長 男女双方からの応募が促進され、幅広い人材登用に努める。

武原 現在の女性登用率は21.8%だが、令和6年度26%目標達成させるための具体的な方法は。

市長 平成28年に創設した女性人材バンク（つばきぽけっと）の周知徹底を図り、多くの女性の意見を市政に反映させたい。





清水 修 議員

質問 社会体育施設の維持管理は？

答 予算の優先順位で進めていく

清水 年間2万人利用の大谷公園の多目的広場と湯ノ本のB&Gプールの維持管理を伺う。

教育次長 多目的広場の照明は9基が故障で、LED電球との交換を予定しているが大掛かりな工事が必要となる。競技に影響のある箇所から予算の中で優先順位をつけて維持管理に努める。B&Gプールは、B&G財団からの修繕助成が可能で、学校プールとして併用なら大規模改修の見通しがあるので屋根改修を含め長期的な活用ができるように進める。



B&Gプール

教育長 大谷グラウンドでのタータンコース設置は検討したが、野球競技での金具付きスパイク使

用による維持に問題があり、旧芦辺中グラウンドでは400mトラック設置は難しく、合宿誘致など設備投資の費用対効果について検討したい。

清水 高齢者が利用するレクリエーション野外施設のトイレの洋式化を。

教育次長 財源を確保して進める。

デジタル社会に向けた取組は

清水 マイナンバーカードの普及推進の取組について3点伺う。

①休日窓口開設の成果と現状の取得状況は。②マイナンバーカードを活用した市独自の取組は。③高齢者への普及の手立ては。

総務部長 ①昨年12月と1月に3回開設し107人、現在は11月から月2回開設して38人が来庁。交付率は11,192枚で43.1%、県内6番目の実績。②国の事業の上乗せになるため、市独自の取組は行っていない。③9月から来年の2月までスマートフォン教室を開きマイナンバーカード取得の説明も行っている。

清水 スマートフォンが無くても取得・活用ができることの啓発をお願いしたい。



植村 圭司 議員

質問 洋上風力発電の市民認知度が低いが対策は？

答 1月下旬に説明会開催予定

植村 洋上風力発電の市民アンケート結果は「必要性は認めるが十分認識していない」状況。正しく理解を深める対策は？

総務部長 現在、漁業者をはじめとした先行利用者の皆様に説明している。一般市民向け説明会を1月下旬に予定している。各町で、講演会や意見交換会などを検討中。学識経験者や発電事業者の参加も計画している。内容はケーブルテレビでも放送する予定。

植村 アンケートでは市が取り組む「気候非常事態宣言」も市民の半分にしか知られていないようだが。

総務部長 普及啓発活動が不足しているという意見は真摯に受け止める。リサイクルとは異なり、

元の製品より付加価値の高いものを産み出す「アップサイクル」に取り組む事業者との連携も検討している。

原発災害時の危機管理

植村 県原子力安全連絡会で示された「夜間は避難しない」「島外脱出には郷ノ浦港と印通寺港も利用する」は公式には初耳だが、市として正式に確認できているのか？

総務部長 見解の理由など、県を通じて国に確認をする。

植村 市民の避難方法を示した「原子力防災のしおり」が平成24年度から更新されていない。この間、避難先閉鎖や新型コロナの影響もある。改訂は？

総務部長 令和4年度見直し、5年度配布と考えている。



原子力防災のしおり



中原 正博 議員

質問 新型コロナウイルスの現状と第6波の備えについて

答 引続き水際対策、市民皆様には基本的な感染予防を

中原 現在、新型コロナウイルス感染状況は落ち着いているが、オミクロン株という変異ウイルスも日本に入ってきており、第6波に対してどのような備えをしていくのか。また、経済の動向について市の見解は。

保健環境部長 本市では、3回目のワクチン接種も始まっており、2回目接種後8か月以上の方から案内していくよう準備をしている。引続き水際対策の徹底と、市民皆様には3密の回避など基本的な感染予防にご協力をお願いする。

企画振興部長 第6波襲来時の経済の動向について、本市では緊急経済対策会議の折、感染対策を徹底した上で、飲食時の人数制限を廃止した。また、第4回プレミアム商品券に続き2月にはキャッシュレスキャンペーンも実施予定で、感染対策を講じた上で経済活性化へのご協力をお願いする。

中原 新型コロナの特効薬が年内にも承認予定だが地方に回ってくるのはいつ頃になるのか。

保健環境部長 抗体カクテル療法は市内でも実施されており、特効薬についても認証されれば年明けには入ってくる。

島内海岸漂着物の現状と今後の対策について

中原 海岸漂着物は海の生態系の悪化、浜辺の景観の喪失、漁業への影響が危惧されている。回収の回数を増やすなど今後の漂着物の対策について尋ねる。

保健環境部長 これまでも定期的に清掃活動は行っているが、今後海水浴シーズン前、また年間を通じて本市観光のイメージを損なわぬよう漂着物の回収を行う。

サンドーム吉岐の現状と今後の対策について

中原 休館から本年までそのまゝの状態になっているが、今後この施設はどのようにしていくのか。

企画振興部長 地元の理解が必要であるが、休館前と同様に指定管理を基本とし、運営について希望者があり、適当と判断されれば運営再開に向けた事務事業を行う。



鵜瀬 和博 議員

質問 サイクルツーリズムを推進すべき

答 関係機関・団体と協議推進する

鵜瀬 吉岐サイクルフェスタは、9割以上が島外参加者、長い歴史と伝統の大会で高評価。今後も交流人口拡大が島の活性化に繋がる。サイクルツーリズムの推進を。

企画振興部長 サイクルツーリズムは第3次総合計画に位置付け、サイクルフェスタ継続開催に向け、準備を進める。

鵜瀬 ルート案内標識・路面標示、サイクルステーション、サイクルスタンドの整備を。

企画振興部長 令和4年1月に観光庁事業を活用し、モニターツアー実証予定。検証結果を踏まえ関係団体等十分協議し、環境整備や魅力発信を検討推進する。

鵜瀬 本市LINEを活用し、危険箇所やトイレ等発信しては。

企画振興部長 地図活用を含めホームページとの連携等研究する。

移住・定住のため空き家の活用を

鵜瀬 第一次産業の就業、人手不足が課題。UITターン者誘致のため空き家の改修活用や住居確保の制度確立を。

企画振興部長 新築・中古住宅取得、空き家バンク登録物件の改修や家財道具撤去費用の一部補助。空き家バンク登録件数を増やすために地域おこし協力隊の任用や制度周知を実施。住居確保のため関係機関と連携し、情報共有し、検討する。

農林水産部長 農業・漁業集落の課題や受入れ等関係者と意見交換し、県、国へ要望等行う。

鵜瀬 児童数減少地域は、留学制度を活用し、地元に住んでもらえる住宅確保を。

教育長 留学制度の内、親子留学は定住率が高い。今後も視野に入れながら努力する。

鵜瀬 まちづくり協議会との連携と地域おこし協力隊、制度の継続を。

企画振興部長 協議会への制度説明や現地調査等連携実施し、体制の充実継続推進に努める。



山口 欽秀 議員

質問 原子力災害避難計画の実効性について

答 避難計画を整備している

山口 30キロ圏内の病院や介護施設の避難計画は？

総務部長 壱岐病院は、計画の中で明記している。赤木病院は、まだ、避難先が指定されていない。品川病院は、指定されている。

山口 30キロ圏外の市民の避難計画は？

総務部長 船舶を使用し、島外へ広域避難することを想定。北九州市や直方市等へ受け入れが了解されている。広域避難計画マニュアルは策定済みで、今後公表する。

山口 防護対策として安定ヨウ素剤の服用の体制は？

総務部長 壱岐病院や30キロ圏内の保育所、小学校等に備蓄してある。

山口 30キロ圏内の市民の避難先の周知は？

総務部長 避難計画書に明記している。

山口 市民へ避難先が周知されていない。安定ヨウ素剤が避難先に備蓄されていない。計画の実効性に問題が多い。

子ども・子育て支援について

山口 「仕事と子育ての両立を社会全体で支える環境づくりを進める」としているが、今後の取組は？

市長 子ども・子育て環境の整備を積極的に進める。認定こども園の普及も図る。

山口 保育所、幼稚園の統廃合はどうするのか？

市長 答申に基づいて、施設の統廃合を進める。

山口 統廃合と「仕事と子育て両立の環境づくり」の整合性は？

市民部長 市全体を1つの区域と考えて、幼児教育、保育の環境を提供していく考えである。

山口 人口減少を食い止めるために、保育所を地域でしっかり確保することが重要である。

追跡



あん質問な
どえ〜んなった？

令和3年9月会議から

質問：壱岐市の公共施設、保育園、幼稚園、小中学校への二酸化炭素濃度測定器設置について

新型コロナウイルス感染症対策として、二酸化炭素濃度測定器の設置を行い、二酸化炭素濃度の数値を把握することにより数値が見える化となり、効果的な換気で感染拡大防止対策に大変有効と考える。早急に設置すべき。

その後：二酸化炭素濃度測定器270台を各施設に設置します。

《設置の内訳》 教育委員会（幼稚園、小中学校等）165台
こども家庭課（保育所等）82台
各庁舎会議室等23台



設置された測定器

議会のテレビ放送はどうやっち見ると？

壱岐市ケーブルテレビの111チャンネルではなくて**112チャンネル**を議会チャンネルとして運用し、議会の生中継、再放送を行っています。

◆テレビで議会を見るためのチャンネルの切り替え方

1 チャンネル**11**を押す

2 チャンネルの送りボタンの上矢印
を押し、テレビ画面右上の数字
が**112**となれば完了



詳しいテレビ放送の日時については、議会のたびに壱岐市ケーブルテレビや告知放送、ホームページにてお知らせします。

「議会を見るなら112」

議会の生中継については壱岐FMラジオでも放送しています。
周波数を76.5メガヘルツに合わせると聴くことができます。

市民の声

「議会だより第71号」
クイズ応募者よりいただいた
ご意見ご感想です。

楽しみに読ませて
いただいています。質問の
内容など少しずつ変わっ
ているように思います。よ
い方向に壱岐市が発展
していけば最高と思い期
待しています。(45歳)

これから先、子育てしやす
い島になって欲しいです。島
外、県外の方にも、もっと壱
岐を知って貰って、“壱岐で”
子育てしたい！住みたい！と
思ってもらえる島に!!市民・
議員で盛り上げていけたら
いいなと思います。(24歳)

新しい議員さんの質問
が聞け、違う角度からの内
容は新鮮です。(11歳)

ざかいだよりいつもよ
んでまーす。学校楽しい
でーす(^_^)(8歳)

市政への意見:年
よりも前向きな市
政を。市のムダ使い
はSTOP!(68歳)

はつまとい
初纏 (出初式)

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆様のご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



初日の出(岳ノ辻)

第71回クイズの答え

- ① 継続
- ② 発展
- ③ 一般

第71回クイズの当選者

濱田 智子 様
山口 茂明 様
徳田由美子 様
橋口 理恵 様
吉永 直美 様

おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望など
お書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分を
お贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

吉岐市勝本町西戸触182-5 吉岐市議会事務局宛

《しめきり》 令和4年2月28日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

コロナ禍で迎えた2度目のお正月。まだまだ日常は取り戻せませんが、少しずつ新しい日常を受け入れつつ、日々の生活に追われる毎日ではないでしょうか。そんな時こそ、ささやかな幸せを見つける瞬間を大切にしたいと思います。

子どもたちの笑顔は、どんな宝石よりも美しく尊いもの。その笑顔を奪わず、引き出す地域の大人の言葉かけや見守りが、一層必要だと感じます。子どもたちに素晴らしい吉岐を残す託すためにも、大人が胸を張って生き生きと生きる後姿を見せることが必要です。

武原由里子



編集後記

議会広報特別委員会
委員長 山川 忠久
副委員長 武原由里子
委員 樋口伊久磨
山口 欽秀
植村 圭司
清水 修
音嶋 正吾
中田 恭一

お知らせ

吉岐市ホームページ

<https://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会の
インデックス(見出し)を検索すると、市長行政
報告及び議員の一般質問の音声を生で聞くこと
ができます。また市議会会議録は、議会事務局・
市役所郷ノ浦庁舎(総務課)・各庁舎(市民生活班)・
各図書館で閲覧できます。ご利用ください。



公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

吉岐市議会議員一同

発行責任者 議長 豊坂敏文
編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県吉岐市勝本町西戸触182-5

TEL : 0920-42-1114

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>

